

于 臣

① 研究業績

1. 著書 (1 件)

・『渋沢栄一は漢学とどう関わったのか—『論語と算盤』が会える東アジアの近代』(共著) ミネルヴァ書房、2017 年 2 月、(編集者) 町泉寿

2. 訳書 (1 件)

・『渋沢栄一と中国— 一九一四年の中国訪問』不二出版、2016 年 7 月、(原書編集者) 田形

3. 学会発表、他

口頭発表 (6 件)

・「中国からみる渋沢栄一—渋沢栄一の 1914 年の中国訪問を手掛かりに」于 臣、第 4 回『国際交流に託した渋沢栄一の望』研究会、国際文化会館、2017 年 12 月

・「近代中国の孔教論と『論語と算盤』」于 臣、シンポジウム：『論語』と『算盤』が会える東アジアの近代—渋沢栄一と三島中洲、倉敷市立美術館、2017 年 1 月

・“Zhang Jian and the Transfer of Western Business Methods through Japan into China”, The Business History Conference, Portland, Oregon, U.S.A. April 2016

・『一気其自然』からみる山田方谷の経世思想」于 臣、備中倉敷学 10 周年記念シンポジウム、倉敷公民館、2015 年 9 月

・“Zhang Jian's Business Management from the Perspective of Shibusawa Eiichi's Gapon-shugi” YU Chen, 17th World Economic History Congress Kyoto2015, ICC Kyoto, August 2015

・「比較の視座から再考する渋沢栄一の『論語』読み—近代中国の孔教論を手掛かりに」于 臣、東アジア文化交渉学会第七回国際シンポジウム、神奈川県開成町、2015 年 5 月

② 学内活動

1. 学内委員

国際交流委員会 (教育人間科学部) 言語サポータ (2013 年 4 月～)

2. JASSO 中国語プログラム 2017 の実施

8 月 24 日から 9 月 17 日まで JASSO プログラム『「同文同種」の両面性を活かす国際的リーダーシップ開発プログラム』を上海で実施した。参加者 10 名は華東師範大学で中国語の集中授業を受講したほかに、課題実習、企業見学、ならびに現地大学生との交流を行うことで、将来、国際舞台で活躍する人材が持つべき主体性、柔軟性、積極性、ならびに協調性の養成に努めた。